

メインスタンドボルト緩み止め処理（ワイヤーロック）

BMW R50/5 – R100RS / RT (1969 – 1980)

／5～／7までのモデルのメインスタンドはスタンドアップ時ブッシュにかかる回転トルクの影響で右側のボルトが緩みやすい。ボルトを部品で取ると緩み止めのタフロックが塗布されていますが充分ではないようです。マメに増し締めすれば危険は少ないでしょうがスタンドを上げた瞬間にボルトが脱落すれば支えが効かない反対側（右側）に転倒してしまいます。究極の解決策はワイヤーロックです。ボルトが完全に締まっている位置にマークしてボール盤でワイヤーホールを開けます。



ノーマル状態



ワイヤーロック実施



別角度から

BMWもこの不具合に気付いてか1981年モデルから形状を変更してナイロンナットを採用し改善しています。

サイドスタンド、メインスタンドともデリケートな部分でひとつ改善すると、またひとつ不具合が発生しているようです。

CRIMECA